

授業実践のまとめ

高等学校 数学班

藤岡中央高等学校
西呂楽高等学校

小板橋 哲
綾部 勝久

視点1

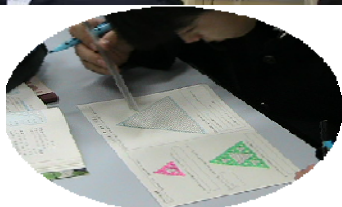
◇双方向授業の工夫◇

- ▶ 授業開始直後は、順番に発問をするように心掛けた。授業にスピード感が生まれた。
- ▶ 次に、授業の流れをよくするため、難度に応じて生徒を指名することで授業に一定のリズムが生まれた。
- ▶ 生徒の回答を復唱して安心感を与えたことにより、次に指名されたときには大きな声で回答できるようになった。



視点2

◇興味関心を持たせる授業の工夫◇



- ▶ 実物投影機を使って、同じクラスの生徒の作品を投影しながら授業を展開することで、他の生徒に良い刺激となった。
- ▶ フラクタルと自然界との関わりについて話した場面では、すべての生徒が関心を持って聞いていた。

視点3

◇考え方を育てる授業づくり◇

- ▶ 問題の文章から図を作成する力と、作成した図から立式に導く力を育成する授業を心掛けた。その結果、生徒が意欲的に問題を解決する態度が育成された。
- ▶ 生徒が、数学の教科を超えた様々な分野でも「どうしてそうなるのか？」といった自問自答を始めたことで、進路や人生について真剣に考えるようになった。



担当指導主事 高校教育研究グループ 大塚 道明